

「南条っ子」～ひとみ輝き 豊かな心で～

南条町立南条小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	2回
中学校区を単位とした協議会	1回
地域及び家庭への学校公開	回(のべ) 6日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	4人
授業ボランティア(含:低ボラ)	3人
登下校支援ボランティア	25人
その他(図書ボランティア)	13人

(3) 特色ある活動

テーマ
「ふるさと教育」

具体的活動内容

3年前から準備してきた、「南条小学校創立50周年記念事業」の最終年度として、10月23日に記念式典を行った。5月ごろ、各家庭から募集したテーマの中から「つながり」を選び、この事業の合言葉となった。これに向けて、各学年の児童は、学校の歴史や地域の中での南条小学校の果たす役割等を学習し、式典当日の学習発表会で発表した。

例えば、3年生は50年前の小学生(祖父母の時代)の生活と30年前の小学生(父母の時代)の生活と現在の小学生の生活を比較してまとめ、劇と映像を組み込みながら、ステージ上で発表した。この調べ学習中に、祖父母や父母からの聞き取りを行い、その当時の様子を知るとともに、交流することができた。そして、自分たちの思いを、これからまた50年後の未来へ繋げて行こうと語りかけていた。

また4年生は、これまで南条小学校の体育大会でみんなが踊ってきた踊りを調べ、みんなでその踊りを実演して紹介した。「南条っ子音頭」「やっしゃか音頭」など、保護者や過去の卒業生にとって懐かしい踊りを披露できた。このために4年生は、家の人や地域の皆さんに踊り方を教えていただき、一緒にその頃の様子なども聞くことができた。



成果と課題

- ・児童は、創立50周年記念事業を通して、多くの地域の方と、「つながり」を持つことができた。そして、学校の歴史を振り返ることは、自分の過去や未来が永久に繋がっていることに気づく良い機会となった。
- ・記念式典当日は、たくさんの来賓の方や保護者、地域学校協議会委員の方々を招待し、児童の発表を見ていただき、本校の教育活動について理解を得ることができた。
- ・学年末には、委員に学校評価や保護者、児童アンケートをお見せし、今年度の学校教育活動について意見をいただいた。来年度の教育計画に生かしていきたい。